

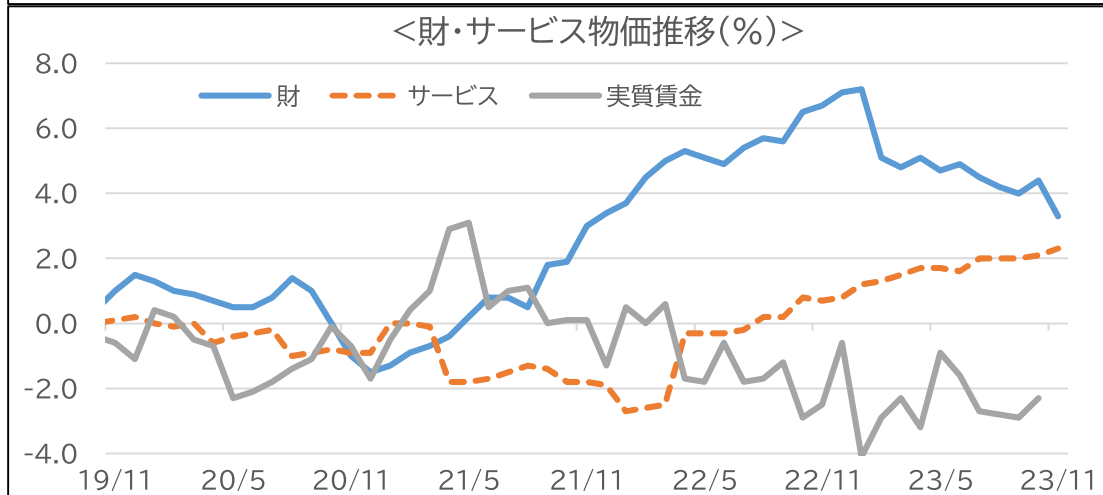
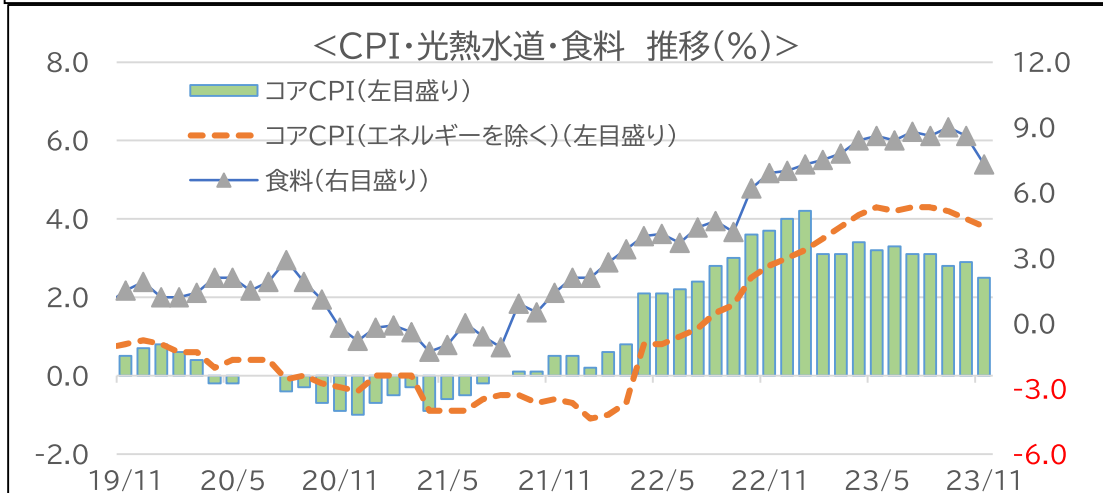
日本・世界の経済

執筆 日本政策総研 主席エコノミスト 村井慎吾
(監修)北海道大学名誉教授 宮脇 淳

11月日本 全国消費者物価指数

2023/12/25 第75号

朝日田コーポレーション
●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp
●ホームページ: <http://www.sapporo-php.co.jp>



(資料)総務省・厚生労働省資料より作成

国内の物価上昇には一服感がみられ始めている。物価の基調をあらわす生鮮食品・エネルギーを除く消費者物価は、8か月ぶりに前年同月比4.0%を割った。特に、財(モノ)価格の上昇幅縮小が目立ち(10月同4.4%⇒11月同3.3%)、食料品についてもピークアウトがみられた。一方、サービス価格については緩やかながらも上昇が継続しており、物価を下支える格好となっている。今回の結果により、物価上昇の落ち着きがみられたものの、実質賃金は依然としてマイナスが継続しており、今後の国内景気を占ううえでは、来年の春闘による賃上げがどのような結果になるかが注目される。